

シンポジウム

「植物園における植物多様性保全」

日本の野生植物のおよそ1/4が絶滅の危機に瀕していると考えられています。そこで日本植物園協会は、全国の各植物園が気候・地域・専門分野等の特色を活かしながら、連携して絶滅の危機にある植物を保全する活動を行う植物多様性保全拠点園ネットワークを2006年にスタートさせています。本シンポジウムでは、市民の方々に日本各地の植物園の取り組みを紹介し、意見交換を行います。

どなたでも参加いただけます

日 時：2023年10月1日（日）
13：00 - 14：30
場 所：大阪公立大学附属植物園
研究棟 講義室
(大阪府交野市私市2000)
定 員：50名（事前申し込みは、メールで
godo@agr.ryukoku.ac.jp まで、締
め切りは9/19ですが、定員に達し次
第締め切ります。）

参加費：参加費は無料ですが、入園料が必要
になります。

内 容：

13：00-13：05 開会挨拶

13：05-14：05 各植物の事例紹介

- ・北海道大学植物園（中村 剛）
- ・環境省新宿御苑（関 勝雄）
- ・名古屋市東山植物園（石川和之）
- ・大阪公立大学附属植物園
(厚井 聡)
- ・京都府立植物園（平塚健一）
- ・熊本大学薬用植物園（渡邊将人）

14：05-14：30 総合討論



「本事業は文部科学省特色ある共同利用・共同研究拠点支援プログラムJPMXP0723833155の助成を受けたものです」